

サンサン

グリーン情報

2017
vol.42

山口県西部森林組合
下関支所

困った木切ります

下関支所事務所の移転について

9月4日より下関支所事務所を深坂から内日へ移転しました。新事務所は県道34号線沿いで内日貯水池より菊川方面に寄った場所に新築し移転しました。表紙の写真のとおり看板を掲示しております。これを機にさらに業務の充実を図り、組合員の皆様のご期待に添えますよう専心努力いたしますので、今後とも倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

なお、移転に伴い電話番号、FAX番号も変更いたしましたのでお知らせいたします。

新所在地

〒750-0252 下関市大字内日上字山坊722番1
電話:083-289-2222 FAX:083-289-2220



山口県西部森林組合事務所住所 & TEL・FAX

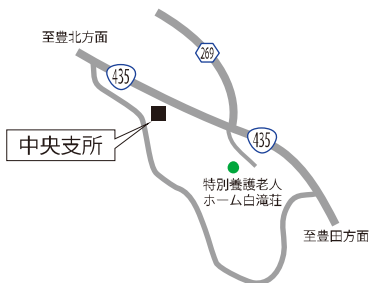
本所

〒750-0441
下関市豊田町大字中村853番13
TEL 083-766-0180
FAX 083-766-0332



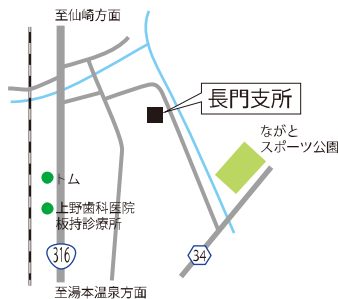
中央支所

〒759-5512
下関市豊北町大字田耕4182番地2
TEL 083-783-0013
FAX 083-783-0243



長門支所

〒759-4102
長門市西深川4099番地1
TEL 0837-22-2001
FAX 0837-22-4938



下関支所

〒750-0252
下関市大字内日上字山坊722番1
TEL 083-289-2222
FAX 083-289-2220





谷川雅之議長



大西長門市市長

第21回通常総代会を、平成29年8月23日午前10時より下関市豊田生涯学習センター2階ホールにて、大西倉雄長門市長様をはじめ多数の皆様を来賓にお迎えし開催いたしました。

総代出席者数は当日現在の総代数が191名に対し、本人出席130名、書面議決書提出者42名、委任状出席者2名で合計174名の出席があり、本総代会は過半数以上の出席で成立しました。

議長には長門市長門地区の谷川雅之総代を指名のうえ、議案を協議しました。

議案の全てを可決決定し、12時に閉会しました。

組合長あいさつ



山口県西部森林組合代表理事組合長 義満 謙

日本列島は異常気象によるものか、各地で暴風・竜巻やゲリラ豪雨・土砂災害が発生し、

大きな被害が出ており、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、40度近い異常な暑さや35度以上の猛暑日が各地で報道されておりますので、熱中症等には気を付けていただきたいと思ひます。

さて、本日は通常総代会のご案内を申し上げます

ところ、総代さんには、ご多忙にもかかわらず、多くの方々にご出席を賜りありがとうございました。

また、長門市長 大西倉雄様、山口県下関農林事務所 長田上愛仁様をはじめ、多くのご来賓の方々には、公私共に、ご多忙の中、ご臨席を賜り、総代会が開催されましたこと、衷心より厚くお礼申し上げますと共に、平素より当組合の運営並びに地域林業の振興・発展につきましましては、格別のご指導・ご支援を賜りましたこと、この場をお借りしまして、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、日本経済は雇用情勢の改善等により、緩やかに拡大に転じつつあるとしておりますが、英国のEU離脱、米国のトランプ政権また新興国経済の減速等により、世界経済が不透明の中、安倍政権は成長戦略の最大の柱は地方創生、ローカルアベノミクスを掲げ、「まち・ひと・しごと」創生本部が稼働し、一億総活躍プランが打ち出されておりますので、地方経済がさらに活性化することと期待しているところでございます。

皆様もご承知の通り、森林・林業・木材産業を取り巻く環境は極めて厳しく、木材需要並びに木材価格の低迷により、採算性の悪化や獣害被害などで、経営意欲の減退・森林所有者の高齢化等山離れによる管理放棄・林業労働力の減少等、様々な問題を抱えている所であります。

このような状況の中、国は「森林・林業再生プラン」を打ち上げ、木材自給率を50%に引き上げる目標を立て、国産材の利用拡大を図ると共に、国産材の安定供給体制の構築と木材需要の創出を車の両輪として、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化等がもたらす地方創生を目指している所であります。戦後造成されました人工林の過半が本格的な、利用期を

迎える中で、豊富な森林資源を皆伐・再造林を行う循環型の林業を展開することで、森林の若返りを図り、二酸化炭素吸収減対策を推進し、森林の有する国土保全、山地災害防止、水源涵養並びに多面的機能の発揮や農山村における地域経済の活性化に貢献し、豊かな森・美しい伝統ある農山村を次世代に継承して行くことが私たちに課せられた使命であります。

その政策として、新たな木材製品の技術開発や普及啓発に向けた環境整備、また、公共建築物の木造化等新たな木材需要の創出、CLT(直行集成板)の普及や木質バイオマスの利用促進等への利活用など、森林資源の利用拡大を図ることが重要であります。

そのため、施業の集約化や林内の路網整備、高性能林業機械の活用など、林業の高い生産性と収益性の向上を図り、需要に応じた、低コストで効率的な木材の生産供給システムを構築することで、林業・木材産業の成長産業化を実現すると共に、農山村地域に産業と雇用を生み出すことで、地域創生に貢献することが急務であります。

川上と川下が連携して、「使う・植える・育てる・伐採する・使う」という、資源循環の健全な森づくりのサイクルをしっかりと確保して、生産・流通体制の整備を通じた、林業・木材産業を地域経済の成長産業に育成し、農山村地域の活力を高めていくことが極めて重要であります。

当組合は全国森林組合連合会が、平成28年度より新たに開始している、次期系統運動に参画して、二つ「効率的かつ安定的な林業経営による組合員の経済的利益の向上」・二つ「林業・関連産業の活性化による地域社会の活力創造」・三つ「森林の持つ多面的機能

事業報告

の高度発揮による国民生活への貢献」の三本の柱に沿って、持続可能な森林経営計画の作成や人材育成に積極的に取り組み、地域林業の活性化及び組合員の社会的・経済的地位の向上・確立のため、地域社会条件に適合した、組合運営を展開してまいります。

さて、本日の総代会の提出議案ですが、特に1号と2号議案について触れさせていただきます。議案第1号は、平成28年度の決算でございますが、予想以上の事業量の確保や経費節減によりまして、黒字決算となりました。これも、一重に関係各位のご指導や、組合員のご支援・ご協力の賜物でありますし、特に、職員や作業員の頑張りのお蔭であります。改めまして、皆様方に、感謝とお礼を申し上げます。議案第2号の平成29年度事業計画設定でございますが、年々事業量が減っていく中で、前年度に比べて大幅な事業費の減額が見込まれることから、新たな事業を獲得すると共に、経費の節約に努めてまいり、組合員への出資配当金及び組合員の福祉の向上並びに森林の持続培養に役・職員一丸となり、鋭意努力する所存でございますので、さらなるご支援・ご協力を、切にお願い申し上げます。本日は、皆様方の忌憚のないご意見を頂き、すべての提出議案に対しまして、ご賛同を頂きますようお願い申し上げます。

最後に、ここにご参集の皆様方の限りなきご活躍とさらなるご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。挨拶いたします。



世界の情勢はイギリスのEUからの離脱やアメリカのトランプ政権の誕生、北朝鮮による度重なる弾道ミサイルの発射、ISによるテロ行為など混沌とした状況が続く、緊迫を強めています。こうした中、世界経済はアメリカの経済活動が年後半に力強く反発し、世界経済の鈍化は2016年を転換期に迎え上昇に転じました。国際通貨基金(IMF)は4月18日に公表した最新の経済見通しで、2017年の世界経済の成長率の予想を当初の3.4%から3.5%に引き上げました。

我が国においては、熊本、鳥取で発生した大地震や台風等に伴う水害など全国各地で自然災害が発生し、国連大学が世界171カ国を対象に自然災害に見舞われる可能性や対処能力を評価した「世界リスク報告書2016版」によると我が国は総合順位で17位と先進国の中でも際だって高い結果となりました。我が国の経済は、輸出は回復が一服しているものの、生産活動は緩やかに回復し、堅調な雇用・所得情勢を受けて、個人消費も緩やかに回復しています。4月の有効求人倍率は148倍と1990年代のバブル期の146倍を上回り、以前高水準で推移しておりますが、「実感なき景気回復」観は拭えず、人手不足の割に賃金が上がらないという認識が広く共有されています。

さて、森林・林業をめぐる情勢は林業の成長産業化が明文化され、木材の輸出額は平成25年から増加をはじめ金額も123億円から平成27年は86%増の229億円に増加しています。また、木材自給率においても平成26年には31%と26年ぶりに30%を超えましたが平成27年は33.3%と平成23年から5年連続で上昇しています。

こうした中、山口県森林組合系統では平成27年度までの運動実績を踏まえ、新たな系統運動として「JForest 森林・林業・山村未来創造運動」次代へ森を活かして地域を創る」として、平成28年度から平成32年度までの5年間の運動期間において5年後の活動目標値を定めた基本方針を作成しました。これまで森林組合系統では、間伐を中心に木材生産を進めてきましたが、今後は主伐・再造林を積極的に推進し、もって木材生産量の飛躍的拡大を図ることで、事業量の拡大、流通の合理化を更に進め、組合の経営基盤強化、組合員の利益向上の実現を目指すものです。

当組合において今年度の素材生産事業は、搬出間伐9,532m³、皆伐1,036m³合計10,568m³の実績を上げることが出来、ついに1万m³の壁を越えることができました。また、施業集約化事業の取り組みにつきましては、7団地を取り組み3,084m³の搬出材積の実績をあげました。また、決算状況につきましては、昨年度を下回る結果となりましたが、年度目標を上回る7億9千万円の収益を上げ黒字決算となりました。厳しい社会情勢の中、また補助金が年々削減されていく中で組合員の皆様方をはじめ、県、市、県森連、関係各位のご指導、ご支援、ご協力によりましてこのような数字を計上でき深く感謝申し上げます。



平成28年度

貸借対照表

平成29年5月31日
(単位:円)

| 科 目 | 小 計 | 合 計 | 科 目 | 小 計 | 合 計 |
|----------------------|--------------|---------------|-----------------------|------------|---------------|
| (資産の部) | | | (負債の部) | | |
| 流動資産 | | | 流動負債 | | |
| 1 現 金 | | 83,485 | 1 買 掛 金 | | 3,753,801 |
| 2 預 金 | | 801,882,970 | 2 短 期 借 入 金 | | — |
| 3 受 取 手 形 | — | — | 3 未 払 金 | | 91,100,280 |
| 貸 倒 引 当 金 | — | — | 4 未 払 法 人 税 等 | | 48,411,500 |
| 4 売 掛 金 | 406,000 | 403,273 | 5 賞 与 引 当 金 | | 21,775,360 |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 2,727 | 403,273 | 6 前 受 金 | | — |
| 5 棚 卸 資 産 | | 2,345,239 | 7 預 り 金 | | 7,309,012 |
| 6 前 払 費 用 | | 261,270 | 8 受 託 販 売 預 り 金 | | 11,629,495 |
| 7 未 収 金 | 18,095,479 | 17,920,243 | 9 受 託 林 産 預 り 金 | | 1,608,790 |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 175,236 | 17,920,243 | 10 雑 負 債 | | 5,375,753 |
| 8 立 替 金 | 36,954,352 | 36,726,598 | 流 動 負 債 合 計 | | 190,963,991 |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 227,754 | 36,726,598 | | | |
| 9 一 般 仮 払 金 | | 2,917,546 | | | |
| 10 積 立 保 険 | | 0 | 固 定 負 債 | | |
| 11 雑 資 産 | 6,706,997 | 6,706,958 | 1 長 期 借 入 金 | | — |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 39 | 6,706,958 | 2 退 職 給 付 引 当 金 | | 114,165,799 |
| 流 動 資 産 合 計 | | 869,247,582 | 3 役 員 退 任 慰 労 金 引 当 金 | | 4,792,750 |
| | | | 4 農 林 漁 業 資 金 借 入 金 | | — |
| 固 定 資 産 | | | 固 定 負 債 合 計 | | 118,958,549 |
| 有 形 固 定 資 産 | | | 負 債 合 計 | | 309,922,540 |
| 1 建 物 | 117,731,717 | 50,221,151 | (純資産の部) | | |
| 減 価 償 却 累 計 額 | △ 67,510,566 | 50,221,151 | 組 合 員 資 本 | | |
| 2 構 築 物 | 2,445,150 | 115,133 | 1 出 資 金 | | 225,393,000 |
| 減 価 償 却 累 計 額 | △ 2,330,017 | 115,133 | 2 利 益 剰 余 金 | | 141,406,606 |
| 3 機 械 装 置 | 73,122,401 | 16,326,126 | 法 定 準 備 金 | | 141,406,606 |
| 減 価 償 却 累 計 額 | △ 56,796,275 | 16,326,126 | そ の 他 利 益 剰 余 金 | | 406,497,035 |
| 4 車 両 運 搬 具 | 39,508,361 | 554,484 | 任 意 積 立 金 | | 406,497,035 |
| 減 価 償 却 累 計 額 | △ 38,953,877 | 554,484 | 当 期 未 処 分 剰 余 金 | | |
| 5 工 器 具 備 品 | 12,934,993 | 650,309 | 当 期 剰 余 金 | 13,251,647 | |
| 減 価 償 却 累 計 額 | △ 12,284,684 | 650,309 | 前 期 繰 越 剰 余 金 | 14,095,702 | 27,347,349 |
| 6 特 用 樹 林 | 1,921,651 | 1 | 3 資 本 準 備 金 | | 1,958,735 |
| 減 価 償 却 累 計 額 | △ 1,921,650 | 1 | 組 合 員 資 本 合 計 | | 802,602,725 |
| 7 土 地 | | 75,587,479 | 純 資 産 合 計 | | 802,602,725 |
| 8 森 林 | | 5,328,219 | | | |
| 有 形 固 定 資 産 合 計 | | 148,782,902 | | | |
| 無 形 固 定 資 産 | | | | | |
| 1 ソフトウェア | | 1,985,781 | | | |
| 無 形 固 定 資 産 合 計 | | 1,985,781 | | | |
| 外 部 出 資 | | | | | |
| 1. 系 統 出 資 金 | | 90,358,000 | | | |
| 2. 系 統 外 出 資 金 | | 2,151,000 | | | |
| 外 部 出 資 合 計 | | 92,509,000 | | | |
| そ の 他 の 固 定 資 産 | | | | | |
| 1. 長 期 貸 付 金 | — | — | | | |
| 貸 倒 引 当 金 | — | — | | | |
| 2. 農 林 漁 業 資 金 貸 付 金 | — | — | | | |
| 貸 倒 引 当 金 | — | — | | | |
| そ の 他 の 固 定 資 産 | | — | | | |
| 固 定 資 産 合 計 | | 243,277,683 | | | |
| 資 産 合 計 | | 1,112,525,265 | 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | | 1,112,525,265 |

「八頭中央森林組合OJT研修」



地区座談会の様子

平成29年6月21日から23日の3日間、当組合より4名の職員が鳥取県の八頭中央森林組合にてOJT研修に参加しました。八頭中央森林組合は複数の森林所有者からなる隣接した林地をとりまとめて団地化し、路網整備及び間伐を一体的に施業する「集約化施業」にいち早く取り組み、近年著しい成長をみせている組合で、昨年度は農林水産祭天皇杯を受賞するなど輝かしい実績を収めています。このように当組合は各地の先進的組合に学び今後の森林施業に活かすべく先進地視察研修を行っています。

総務企画課 藤岡 和昭

この研修では八頭中央森林組合の強固でありながらも柔軟な組織運営に一番の大きな印象を覚えました。この組合は平成32年度に搬出材積10万m³という大きな目標を掲げています。上層部の強力なリーダーシップのもと、順調に業績を上げながらも過去を振り返って作業道作設の方針を転換したり事業所体制を改変したりと、現状に満足せず日々試行錯誤している姿は見習うべき点でした。また地区座談会を通じて組合と地域の組合員が連携を密にしている状況は大いに参考になりました。研修を終えて当組合も特性を活かした独自の方法を模索して長期的な目標を設定し、組合員の皆さんに貢献することが必要だという考えに至ることができたのは今回の大きな収穫でした。



作業道設計の検証の様子

森林活用課 能勢 皓宏

今回の研修では作業道の担当者として現地視察等を通じて多くの事を学びました。現場での技術面では急斜面で岩が出た場合の施工法やトラックが走れる作業道開設の工夫、かまぼこ型路体への取組などをはじめ、機械が故障した場合の迅速な対処法などを教わりました。また急傾斜に作業道を通す場合の設計者の心構えや事業に取り組む前向きな姿勢、出来ない理由を探すのではなくどうしたらできるのかを模索するなど現場での技能以外の部分でも強く心に残る言葉が多くあり、同時に当組合の抱える問題点も把握できて大変意義のある研修となりました。今後の業務では今回の経験を積極的に活かしていきたいと思います。



かまぼこ型路面の林業専用道視察

下関支所 鋤野 貴

研修を終えて、八頭中央森林組合は経営陣トップの熱意と行動力、発想力に加え、それを実行する職員が適材適所で配置されていることによって成長し続けていると感じました。森林経営計画の切り替えを来年度に控え、集約化施業を計画、実行するうえで今回の研修は大変参考になりましたが、集約化事業成功の鍵はいかに森林所有者に魅力ある提案ができるかに掛っています。八頭中央森林組合の場合は山に道を開設し、所有者が車で山に入りやすくすることを一番のセールスポイントに挙げていました。私も今後は森林所有者のニーズを考えて、自分なりの熱意と行動力、発想力を発揮して集約化事業を提案していきたいと思えます。

中央支所 山田 孝和

私は以前に視察で八頭中央森林組合に訪問した経験がありますが、今回も大変濃い内容の研修を受けさせて頂きました。以前では無かった事業所を新たに配置したり、搬出方法を車輛系から大型トラック道や林業専用道とタワーヤーダー、自走式搬器を中心とした架線集材の組合せに転換していたりと、トライ&エラーを繰り返して作業効率の向上に邁進している職場環境はとても刺激を受けました。職員を専門化していることや地域の窓口となる推進委員との連携方法などでは徐々に弊害が見えてきた部分もあり、先進的組合といえども課題は抱えていて順風満帆とは言えない状況のようですが、そこも臨機応変に対処している印象でした。多忙な中でこの研修に対応して頂いた八頭中央森林組合の皆様に感謝すると共に、自分も微力ながら当組合の発展に尽くしていきたいです。

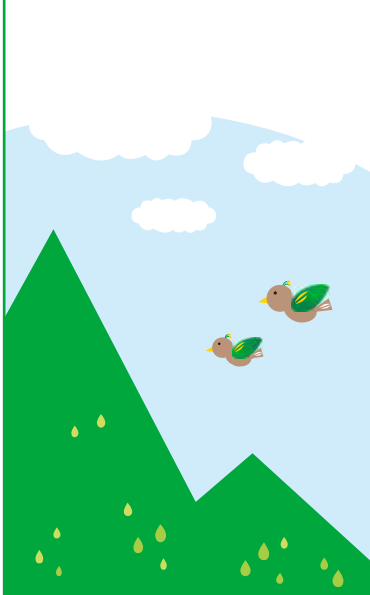


搬出作業中の様子



開設済み作業道の施工検証

架線集材で搬出間伐した現場(作業後)



平成28年度

損益計算書

平成28年6月1日から平成29年5月31日まで
(単位:円)

| 科 目 | 小 計 | 合 計 | 事 業 区 分 | | | | | 信託事業 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|--------|-------------|---------|
| | | | 一 般 事 業 | | | | | |
| | | | 計 | 指 導 | 販 売 | 加 工 | 森 林 整 備 | |
| I 事業総損益 | | | | | | | | |
| 1. 事業総収益 | 788,950,721 | | 788,702,054 | 32,748 | 21,265,416 | 37,000 | 767,366,890 | 248,667 |
| 2. 事業総費用 | 530,359,791 | | 530,359,791 | 1,836,796 | 10,470,968 | 33,490 | 518,018,537 | — |
| 事業総利益 | | 258,590,930 | 258,342,263 | △1,804,048 | 10,794,448 | 3,510 | 249,348,353 | 248,667 |
| II 事業損益 | | | | | | | | |
| 1. 人件費 | 184,414,904 | | 184,322,697 | 737,660 | 7,192,181 | 1,844 | 176,391,012 | 92,207 |
| 2. 旅費・交通費 | 2,099,647 | | 2,098,597 | 8,399 | 81,886 | 21 | 2,008,291 | 1,050 |
| 3. 事務費 | 6,674,529 | | 6,671,192 | 26,698 | 260,307 | 67 | 6,384,120 | 3,337 |
| 4. 業務費 | 3,619,830 | | 3,618,020 | 14,479 | 141,173 | 36 | 3,462,332 | 1,810 |
| 5. 諸税負担金 | 35,654,656 | | 35,636,829 | 142,619 | 1,390,532 | 357 | 34,103,321 | 17,827 |
| 6. 施設費 | 20,785,544 | | 20,775,151 | 83,142 | 810,636 | 208 | 19,881,165 | 10,393 |
| 7. 雑費 | 1,337,577 | | 1,336,908 | 5,350 | 52,166 | 13 | 1,279,379 | 669 |
| 事業管理費計 | | 254,586,687 | 254,459,394 | 1,018,347 | 9,928,881 | 2,546 | 243,509,620 | 127,293 |
| 事業利益 | | 4,004,243 | 3,882,869 | △2,822,395 | 865,567 | 964 | 5,838,733 | 121,374 |
| III 経常損益 | | | | | | | | |
| 1. 事業外収益 | 10,255,524 | | 10,255,524 | | | | | — |
| 2. 事業外費用 | 2,685,718 | | 2,685,718 | | | | | — |
| 事業外損益 | | 7,569,806 | 7,569,806 | | | | | — |
| 経常利益 | | 11,574,049 | 11,452,675 | | | | | 121,374 |
| IV 特別損益 | | | | | | | | |
| 1. 特別利益 | 17,410,598 | | 17,410,598 | | | | | — |
| 2. 特別損失 | 13,209,000 | | 13,209,000 | | | | | — |
| 特別損益 | | 4,201,598 | 4,201,598 | | | | | — |
| 税引前当期利益 | | 15,775,647 | 15,654,273 | | | | | 121,374 |
| 法人税・住民税及び事業税 | | 2,524,000 | | | | | | |
| 法人税等調整額 | | — | | | | | | |
| 当期剰余金 | | 13,251,647 | | | | | | |
| 前期繰越剰余金 | | 14,095,702 | | | | | | |
| 当期未処分剰余金 | | 27,347,349 | | | | | | |

(単位:円)

平成28年度
剰余金処分脚注 1 出資配当金の配当率は、1%である。
2 次期繰越剰余金中、教育情報資金は
1,500,000円である。

| 摘 要 | 積 算 内 訳 | 内 訳 | 小 計 | 合 計 |
|-------------|---------------|-----|-----------|------------|
| I 当期末処分剰余金 | | | | 27,347,349 |
| II 剰余金処分数額 | | | | |
| 1 法定準備金 | 当期剰余金の5分の1以上 | | 4,000,000 | |
| 2 任意積立金 | | | 6,000,000 | |
| 1 出資配当金 | 払込済出資金の100分の1 | | 2,252,200 | 12,252,200 |
| III 次期繰越剰余金 | | | | 15,095,149 |

組合員及び出資金

H29.5.31現在

| 区 分 | 組 合 員 数 | | | 出 資 金 | | |
|--------|-----------|-----------|--------|-----------|-------------|--------------|
| | 正組合員 人 | 准組合員 人 | 計 人 | 出資口数 口 | 出資総金額 円 | 払込済出資金額 円 |
| 前年度末現在 | 10,305 | 328 | 10,633 | 224,224 | 224,224,000 | 224,224,000 |
| 本年度中増加 | 5 | — | 5 | 1,785 | 1,785,000 | 1,785,000 |
| 本年度中減少 | 39 | 1 | 40 | 616 | 616,000 | 616,000 |
| 本年度末現在 | 10,271 | 327 | 10,598 | 225,393 | 225,393,000 | 225,393,000 |

平成29年度「安全標語」入選作品

組合長賞

日々ゼロ災 変えるな省くな 作業手順
中央支所 東 大介

優秀賞

徹底しよう 保護具の着用！ 合図と確認！
下関支所 高橋 淳

プロ意識 高めて目指そう ゼロ災職場
中央支所 福田良二

佳作

慣れた作業ほど 安全確認 怠るな！
下関支所 長岡律行

コラッ!! また忘れちよる！ 毎日の安全確認
長門支所職員 福富潤一

もしかして 作業の前に 危険予知
中央支所 大田信孝

安全パトロールの実施



災害のない安全な職場作りのために、作業中の現場を訪れ作業状況を視察し、安全作業の徹底を図るため安全パトロールを実施しました。

特に今年の夏は梅雨明けから連日猛暑が続き、全国的に熱中症に対する呼びかけが行われています。組合としても作業員に対して、熱中症対策を十分するよう指導いたしました。「ゼロ災害」を常に目標とし、これからも安全の徹底に一丸となり取り組む所存です。

H29年度

安全衛生目標

リスクアセスメントの確実な実施の推進

安全衛生スローガン

「日々ゼロ災
変えるな省くな
作業手順」

平成29年度 安全衛生大会開催

労働災害の防止を目的に当組合主催の安全衛生大会を、9月6日開催いたしました。午前は、豊浦東消防署にご協力をいただき救命講習会を作業員、男性職員全員が受講し、心肺蘇生方法やAEDの使用方法、応急手当について指導を受けました。午後は、労働災害ゼロを目指し、作業手順の再確認とビデオによる伐木造材の基本について再度研修を行いました。

今年度の労働安全標語の最優秀作品「組合長賞」は中央支所所属の作業員 東大介さんが受賞をされ、1年間無事故・無災害の作業員に対して今年度より新たに報償を行いました。最後に出席者全員での指差し唱和、班長代表者による大会宣言を行い「ゼロ災害を目指した職場づくり」を出席者一同で誓い合いました。



「コンプライアンス研修会の開催」

当組合では役職員を対象に農林中央金庫中国営業部次長 青島伸彦氏を講師にお招きし、8月23日コンプライアンス研修会を開催いたしました。

コンプライアンスは「組織生存の生命線」である共に「組織の価値を高める」効果もあります。ひとたび森林組合で不祥事が発生すれば、当組合のみではなく森林組合系統全体の信頼を損ない、大きな損害をもたらす危険性があります。そのためにも森林組合系統として組合員及び社会から信頼される組合となるよう、役職員一丸となりコンプライアンスに取り組んでいきます。



林業作業員の募集

当組合では事業拡大のため林業作業員を募集いたします。

- 仕事の内容
林業に関連した作業全般
- 賃金
172,500円～230,000円
- 賃金形態
日給7,500円～10,000円 月23日
- 雇用形態
2ヵ月有期雇用→その後4ヵ月有期雇用→その後選考により正規雇用予定
- 試用期間有
- 就業時間
8時～16時40分(休憩時間120分)
- 加入保険等
雇用・労災・健康・厚生・退職金制度有



問い合わせ先

- 旧下関市・旧菊川町・旧豊浦町にお住まいの方
山口県西部森林組合下関支所 電話083-289-2222
- 旧豊田町・旧豊北町にお住まいの方
山口県西部森林組合中央支所 電話083-783-0013
- 旧長門市・旧三隅町・旧日置町・旧油谷町にお住まいの方
山口県西部森林組合長門支所 電話0837-22-2001

ハローワークにも求人票を出しております
草刈機、チェーンソーをお持ちでない方には組合より貸与します。

組合員の名義変更をお願いします

— 組合員資格に係る届出のお願い —

1. 死亡による相続
2. 譲渡
3. 共有林の代表者の変更
4. 記載事項(住所変更等)

上記事項が生じた場合、組合員資格に係る届出が必要になりますので、該当される方は早急に所定の手続きをお願いします。

様式は組合ホームページ↓

(アドレス "<http://www.ywf.or.jp/>")

に組合員専用ページを設置し、組合員資格手続きを行う際に使用する様式を提供していますのでご利用下さい。

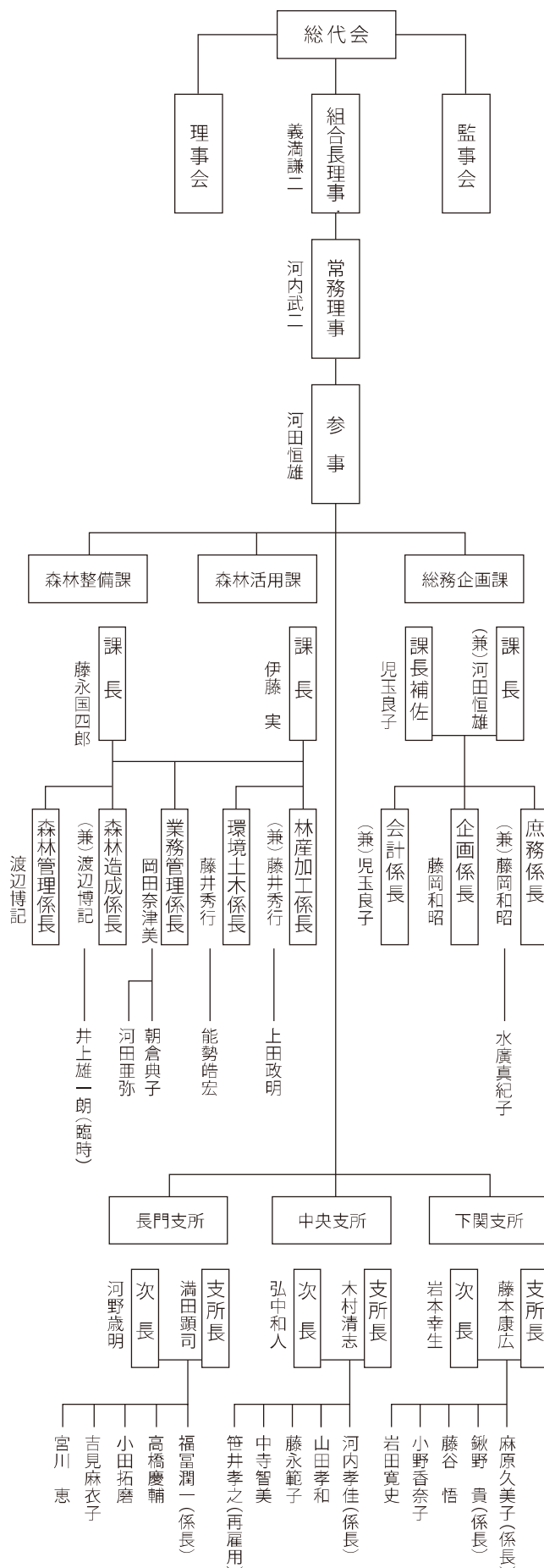
組合員死亡による相続をされる場合は、組合員の死亡及び相続を確認する書類(例:戸籍謄本、公的に相続した書類等)が必要となります。

なお、手続(届出)に関して不明な点や詳細につきましては本所、支所までお問い合わせ下さい。

本 所 083-766-0180 下関支所 083-289-2222
中央支所 083-783-0013 長門支所 0837-22-2001

山口県西部森林組合 組織図

H29年9月1日現在





困った木切ります

～大木にお悩みの方に朗報～

各地で暴風・竜巻・ゲリラ豪雨が発生し、甚大な被害が発生しています。こうした中、家の周囲に大木があると悩む被害を受けることがあります。こうした困った木の伐採に悩まれている方がありましたら、お気軽に当組合にご相談下さい。無料でお見積もり致します。

編集後記

7月5日に発生した九州北部豪雨により甚大な被害が発生し、亡くなられた方々へのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しましても、心よりお見舞い申し上げます。

昨年は熊本・鳥取地震や台風等に伴う水害などが全国各地で発生し、未曾有の大震災が勃発しており、まさに災害列島化しています。災害に対抗するためには知識をつけ、準備し、早めの行動をとることが必要なのかもしれませんが。(T.K)

木製演台・プレートを寄贈



当組合では、下関市長に木製の演台及びネームプレートを寄贈いたしました。どちらも既製品にはない木の温もり、重厚さ、木目の美しさ、優しさを醸し出しています。材質は下関市長プレートがヒノキ材、演台がスギ材とヒノキ材を使用しています。

表紙紹介

～新築移転した下関支所～

表紙の写真は新築移転した下関支所の外観写真です。下関市上下水道局のご配慮により土地をお借りすることができ、事務所と倉庫を新築いたしました。新事務所は県道34号線の沿線で、場所的にも分かりやすくなりましたので、お気軽にお立ちより頂きますようお願いいたします。



安全・人と自然・調和

【野生草食獣食害防止】

くわんたい・防獣ネット



【樹皮食い・角研ぎ防止】

バークガード

【除草剤】

ザイトロン・ザイトロンフレノック微粒剤
フレノック粒剤・ケイピンエース

【殺虫剤】

ハチ・アブエアゾール

【樹幹注入剤】

マッキー・他各種



【野生獣類忌避剤】

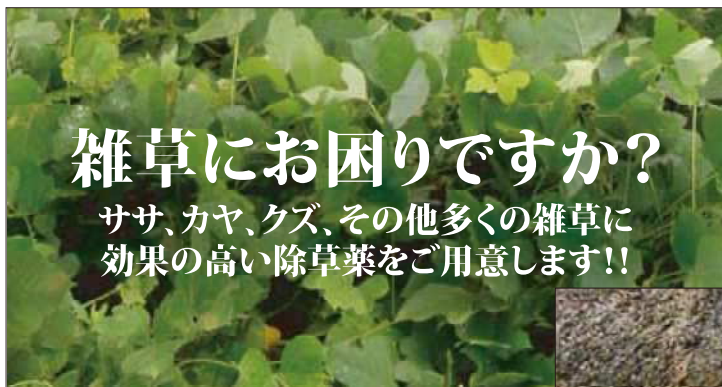
ユニファー水和剤
ランデクターヒルよらん

DDS 大同商事株式会社

〒841-0051 佐賀県鳥栖市元町1246-3
Tel0942-87-9700 Fax0942-87-9704

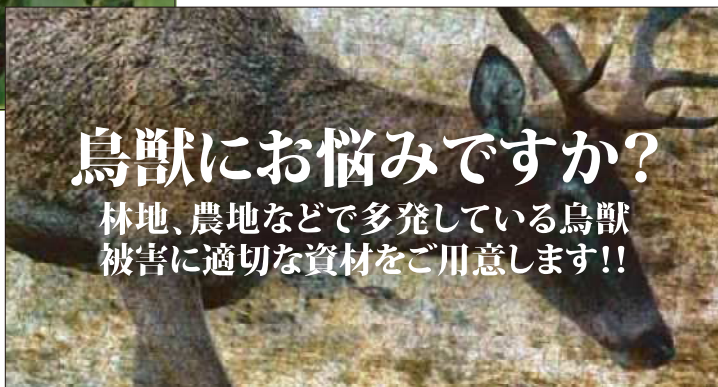
雑草にお困りですか？

ササ、カヤ、クズ、その他多くの雑草に
効果の高い除草薬をご用意します!!



鳥獣にお悩みですか？

林地、農地などで多発している鳥獣
被害に適切な資材をご用意します!!



ご相談受け付けております。
詳しくは森林組合へお問合せください。

正和商事株式会社

北九州市小倉北区京町 3-14-11 本館 303
TEL:093-511-0115 FAX:093-511-0116

Forest

2017年9月vol.42

■発行/山口県西部森林組合 〒750-0441 山口県下関市豊田町大字中村853番13
TEL 083-766-0180 FAX 083-766-0332
URL: <http://www.ywf.or.jp/>
E-mail: [ywf-s@ywf.or.jp/](mailto:ywf-s@ywf.or.jp)

YWF
山口県西部森林組合

再生紙を使用しています



この印刷物は、自然環境に優しい大豆油インキを使用しております。